

# RjpWiki アーカイブス

【R のココロ (06.06.30)】

## たまたまループでも書けるもの

ベクトルを添字によって操作する

## 本質的にループであるもの

収束するまで繰り返すアルゴリズム

## ” <- ” が関数であること

「関数である」⇒返値がある

```
f(arg)
```

と同じように考えれば,

```
<-(arg)
```

である.

```
> x <- 1      # x に 1 を付値
> x <-(1)     # <- の返値が "1"
> (x <- 1)    # "(" も関数
[1] 1
> print(x <- 1) # 厳密には () が単純に print()
                # で置換されているわけではない
[1] 1
> y <- (x <- 1)
> y
[1] 1
> assign("x", 2)
> y <- assign("x", 2)
> y
[1] 2
```

## 引数がベクトル化されていること

直感的になじみのあるもの.

```
> exp(1)
[1] 2.718282
```

ベクトルで与えられると

```
> exp(1:10)
[1] 2.718282 7.389056 20.085537 54.598150 148.413159
[6] 403.428793 1096.633158 2980.957987 8103.083928 22026.465795
```

ベクトルで返値.

## 二次形式

- ループで求める
- 内積で求める